

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2025年1月1日		～ 2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2025年1月1日		～ 2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援計画を元に、子ども一人ひとりに療育が行えるよう職員間同士で見直しを行っている。	日々の活動の中で、前半は個別プログラム(一人ひとりに合ったプリントの提供、鉛筆の持ち方、就学準備)後半は、集団活動(ルールや順番)を提供している。	偏らずに、毎日、しょくと振り返りをし、意見を合わせ、活動を決めていく。
2	平日、休日と活動を変え、季節や月行事に応じて活動している。	毎週土曜日は“ウィズの日”として平日に活動出来ない事に、挑戦している。(多機能型、公共機関の体験、クッキング体験、お買い物体験等)	職員の配置や社用車を増やし、参加出来る人数を増やしていく。
3	『ほうれんそう』(報告・連絡・相談)がしっかり出来ている。	施設長、児発管、社員、パートと関係なく意見が飛び交う関係性が保てている。	施設長や児発管を中心に半年に一度、面談を行い、継続していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎時、職員数や配属数が少なく感じることもある。。	体調不良者が出てしまうと送迎や安全面に問題がある時が出てしまう。	職員の健康管理の徹底の声掛けを日々行っていく。また、職員数の増加も検討していく。
2	研修への参加不足。	市区町村で設けられている研修へ積極的に参加する。	常に発信を見逃さないように心掛ける。
3	父母の会や、地域交流が出来ていない。	保護者様へ面談や交流の場を設け、保護者様に意見を今後の課題としていく。	地域新聞やチラシ等の発信をしっかり把握し、必要であれば参加をしていく。